

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立津山小学校教諭 6学年 西條 裕之

実施年月日：令和5年6月20日 15名

1 実践計画・指導のねらい

児童は、買い物に消費税が課されている程度の認識であり、税金が生活を支えてくれていることを知らずに過ごしている。そこで本単元の学習を通して、税金の種類や使われ方を確認し、自分たちの生活が税金によって支えられていることに気付かせたい。また、ゲストティーチャーによる租税教室を設定し、税金に対する興味や関心を高められるようにしたいと考える。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・国会の働きと選挙の仕組みについて理解する。	○ <u>国会の働きについて調べよう</u> ● 国会では、予算や法律を決める働きがある。 ● 国会議員は、選挙によって選ばれる。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
2	・税金の種類や使い道について知る。 ・消費税の増税について、各自の考えを交流する。	○ <u>税金についてどんなことを知っていますか。</u> ● 買い物で消費税が10%かかる。 ● 教科書のお金に税金が使われている。 ● ○○税と聞けけれど、内容はよく知らない。 ● 自分の生活と税金に関わりがあるのか分からない。 ○ <u>消費税の増税は、した方がいいと思いますか。しない方がいいと思いますか。</u> ● 負担が増えて、生活が苦しくなる人が出てきそうだから反対。 ● 公共サービスを充実させるためにも必要。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
3	・租税教室	○ <u>どんな税金を知っていますか。</u> ● 「消費税」「所得税」「自動車税」 ○ <u>税金はどんなことに使われていると思いますか。</u> ● 「ごみの処分」「市役所」「図書館」「パトカー」 ○ <u>税金がなかったら、どうなるでしょうか。</u> ● 交番で何かを頼むのが有料になる。ゴミが回収されず、町が汚くなる。火事になっても消火されない。 □ DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」
4	・税金について学んだことを絵はがきで表現する。	○ <u>税金の大切さを絵はがきにして伝えよう。</u> ● 税金が使われているものを描こう。 ● 税金の大切さを呼びかけるデザインにしよう。 ● 税金がなかった場合も表現しよう。

【指導のポイント】<1時間目>

選挙で選ばれた国会議員によって、国民の生活に関わる法律や予算などを決めていくことを押さえた。

【指導のポイント】<2時間目>

初めは、支払うお金が増えるという考えから反対派が多かった。しかし、税金のよさを調べさせてから意見を聞き直すと、増税は必要かもしれないという意見が多く出た。税金の必要性に気付かせることができた。

【指導のポイント】<3時間目>

ゲストティーチャーによる租税教室を通して、税金についての基礎的な知識を得ることができた。DVDを視聴したことで、自分たちの生活がいかに税金によって支えられているのか理解を深めることができた。



【指導のポイント】<4時間目>

完成した絵はがきを見せ合わせながら、税金の学習を通して分かったことや学んだことを交流させた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ ゲストティーチャーによる租税教室を通して、税金の種類や使われ方を学んだことで、児童は税金の必要性に気が付くことができた。
- ◎ 税に関する絵はがきコンクールへの応募が学習のまとめにつながり、税に対する意識を高めることができた。
- ◆ 税金の種類を名称のみ紹介したが、児童になじみのないものが多かったため、詳しい説明をする必要があった。
- ◆ 登米市の税に関する資料を提示しながら、自分の住む地域にも関心を向けさせるように工夫すれば良かった。

